

# 令和4年度青葉区区民意識調査結果のポイント

対象者 青葉区内に居住する満18歳以上5,000人(外国人含む)

抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出

調査方法 郵送又はインターネット回答によるアンケート方式

調査期間 令和4年9月30日(金)～10月14日(金)

有効回答数 2,833(回収率56.7%)

※百分比はnを100.0%として算出し、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示しています。  
このため、内訳の合計が100.0%に満たない場合や、上回る場合があります。

## 1 青葉区への愛着・誇り

### 愛着や誇りを「感じている」又は「やや感じている」と答えた割合は8割近く

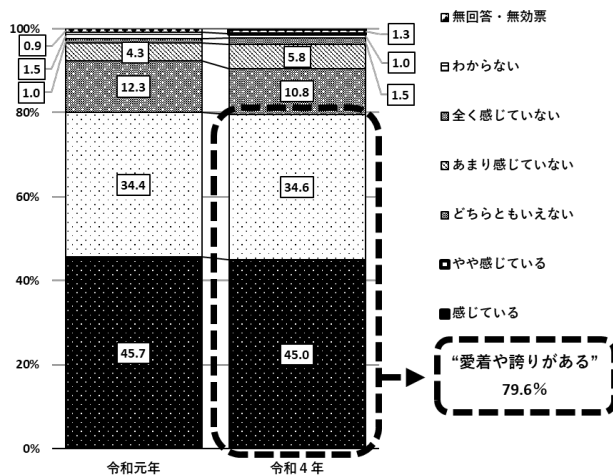
- 青葉区に“愛着や誇りがある”(「感じている」+「やや感じている」の合計)割合は、79.6%となりました。
- 経年比較を見ると、“愛着や誇りがある”割合は、令和元年より0.5ポイント低いですが、大きな変化は見られませんでした。
- 横浜市への愛着・誇りと比較すると、“愛着や誇りがある”割合は、8.2%高くなりました。

Q. あなたは、青葉区や横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。  
青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。

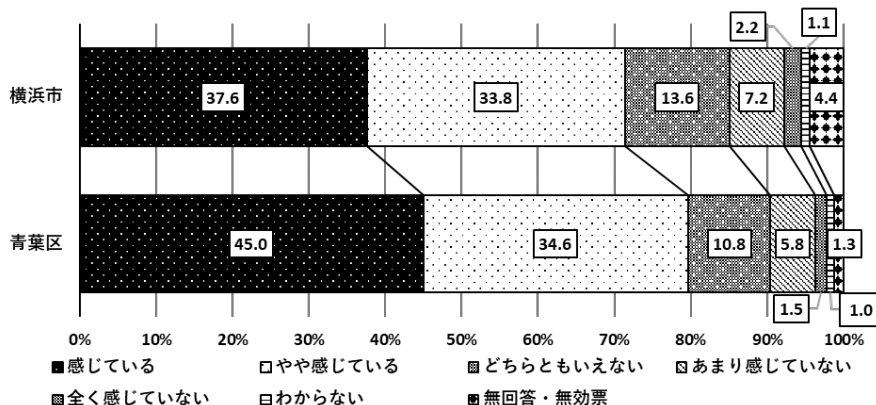
#### 青葉区への愛着・誇り

n=2,833

感じている	45.0%
やや感じている	34.6%
どちらともいえない	10.8%
あまり感じていない	5.8%
全く感じていない	1.5%
わからない	1.0%
無回答・無効票	1.3%



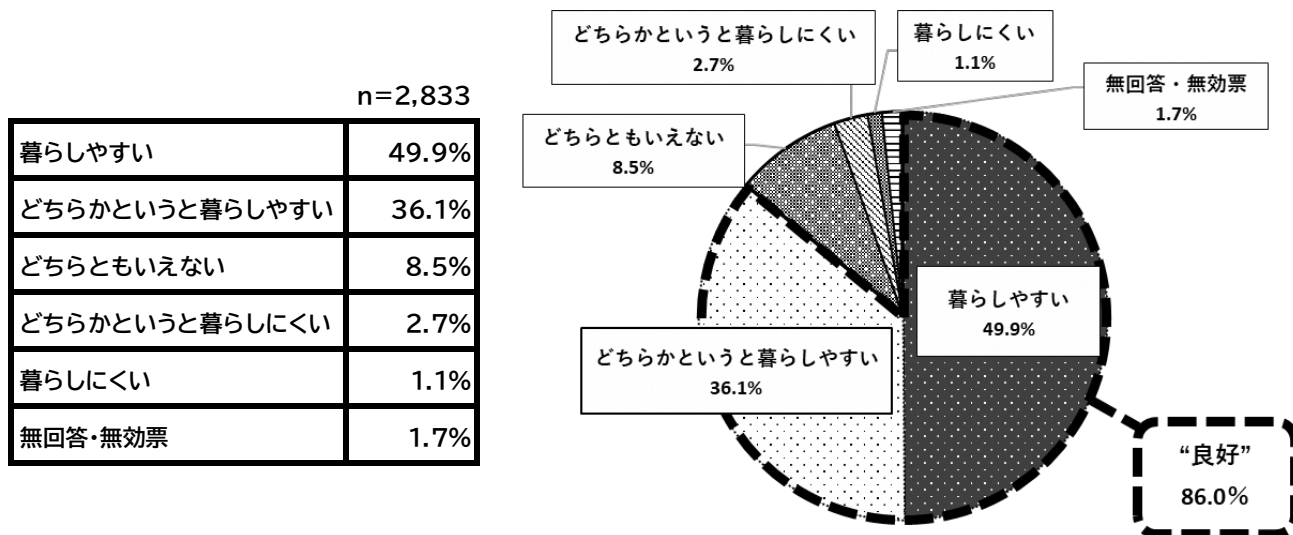
#### 横浜市と青葉区の比較



## 生活環境において「暮らしやすい」又は「どちらかという暮らしやすい」と答えた割合は8割半ば

- 現在の住まいの周辺の生活環境が“良好”（「暮らしやすい」+「どちらかという暮らしやすい」の合計）の割合は86.0%で、高い水準となっています。

Q. あなたは、現在のお住まいの周辺の生活環境をどのように感じていますか。



## 半数以上が、「交通(通勤・通学など)の便」を重視

- 青葉区に住むに当たって重視した点では、「交通(通勤・通学など)の便」が57.9%と割合が最も多く、次いで「治安の良さ」(45.3%)、「静かな住環境」(43.0%)でした。

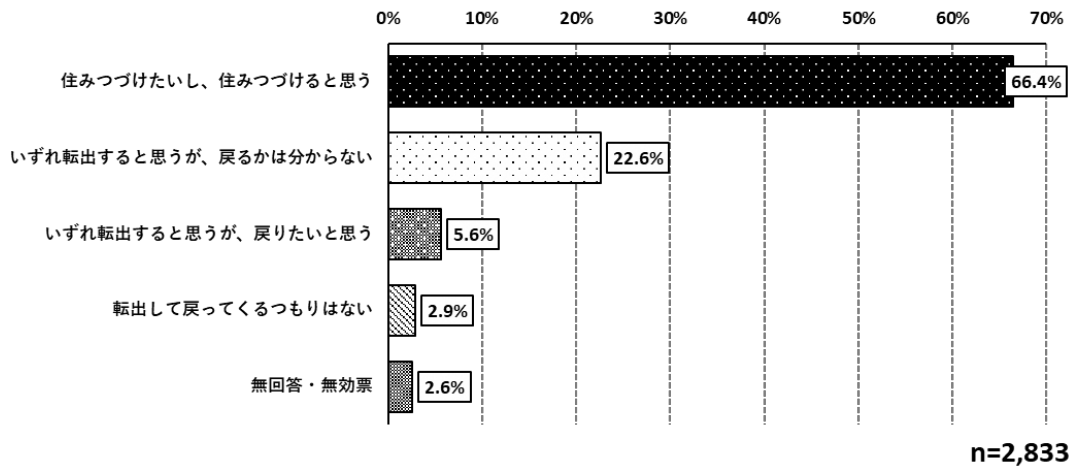
Q. あなたが青葉区に住むに当たって重視した点はどのようなことですか。(複数回答)

n=2,833

順位	居住に当たって重視した点(上位5位)	
1位	交通(通勤・通学など)の便	57.9%
2位	治安の良さ	45.3%
3位	静かな住環境	43.0%
4位	日頃の買い物などの利便性	41.3%
5位	職場・学校などへの距離	40.6%

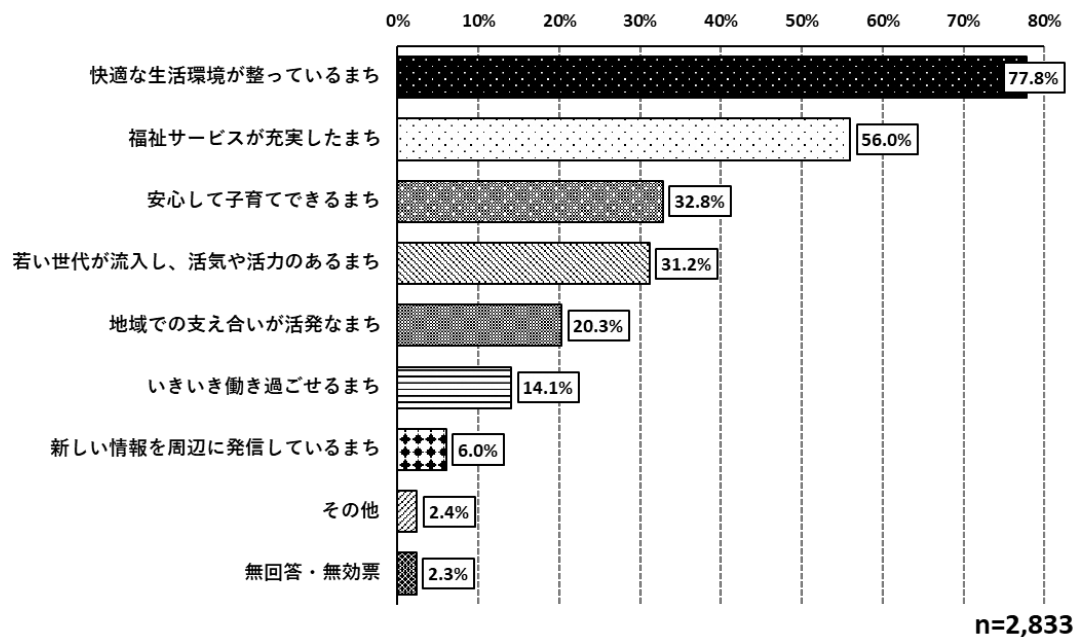
- 青葉区に「住みつづけたいし、住みつづけると思う」と答えた割合は、66.4%でした。

Q. あなたは、青葉区に住みつづけたいと思いますか。



- 「快適な生活環境が整っているまち」が 77.8%と割合が最も高く、次いで「福祉サービスが充実したまち」(56.0%)、「安心して子育てできるまち」(32.8%)でした。

Q. あなたは、将来、青葉区がどのようなまちであってほしいと思いますか。(複数回答(※3つまで))



## 半数以上が「水や食料の備蓄」、 「ニュースなどでの気象状況の把握」と回答

- 「水や食料の備蓄(一人当たり3日以上)」が 62.4%と割合が最も高く、次いで「ニュースなどでの気象状況の把握」(54.7%)、「非常持出袋などの準備」(43.6%)でした。

Q. あなたの実施している防災対策は何ですか。(複数回答)

n=2,833

順位	既に取り組んでいること(上位5位)	
1位	水や食料の備蓄(一人当たり3日以上)	62.4%
2位	ニュースなどでの気象状況の把握	54.7%
3位	非常持出袋などの準備	43.6%
4位	トイレパック(携帯トイレ)の準備	41.7%
5位	ハザードマップなどで危険個所を把握	41.0%

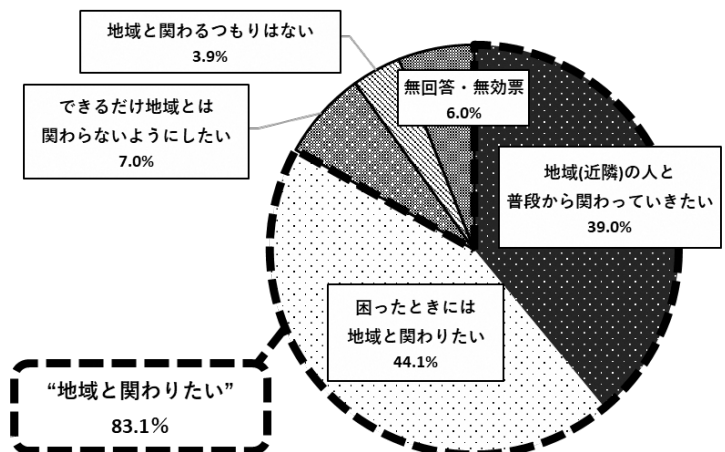
## “地域と関わりたい”の割合は8割半ば

- 地域との関わり方について、“地域と関わりたい”(「地域(近隣)の人と普段から関わっていききたい」+「困ったときには地域と関わりたい」の合計)割合は、83.1%でした。
- 一方、“地域と関わりたくない”(「できるだけ地域とは関わらないようにしたい」+「地域と関わるつもりはない」の合計)割合は、10.9%でした。

Q. あなたは、地域とどのように関わっていききたいと思いますか。

n=2,833

地域(近隣)の人と普段から関わっていききたい	39.0%
困ったときには地域と関わりたい	44.1%
できるだけ地域とは関わらないようにしたい	7.0%
地域と関わるつもりはない	3.9%
無回答・無効票	6.0%

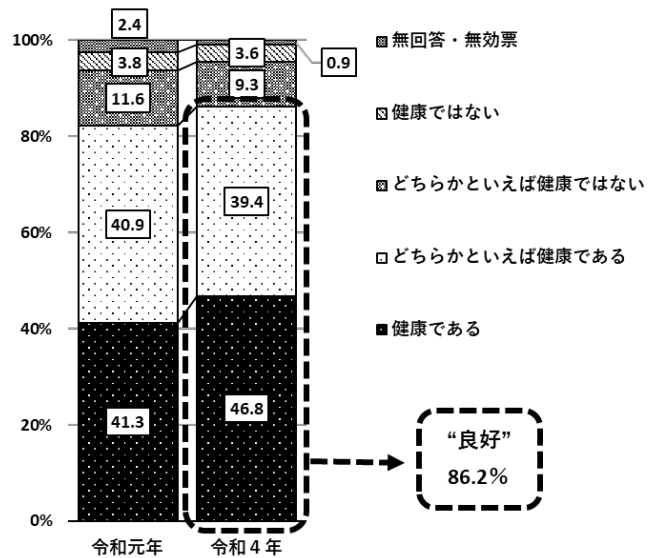


- 健康状態が“良好”（「健康である」+「どちらかといえば健康である」の合計）の割合は、86.2%でした。
- 令和元年と比較すると、“良好”の割合が4ポイント高くなりました。

Q. あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものを選択してください。

n=2,833

健康である	46.8%
どちらかといえば健康である	39.4%
どちらかといえば健康ではない	9.3%
健康ではない	3.6%
無回答・無効票	0.9%

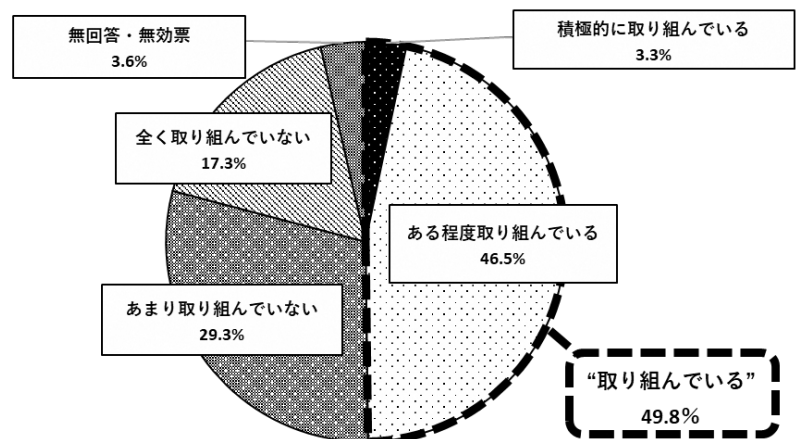


- 脱炭素化に“取り組んでいる”（「積極的に取り組んでいる」+「ある程度取り組んでいる」の合計）割合は、49.8%でした。
- 一方、“取り組んでいない”（「あまり取り組んでいない」+「全く取り組んでいない」の合計）割合は、46.6%でした。

Q. あなたは、「脱炭素化」に向けた取組について、どの程度取り組んでいますか。

n=2,833

積極的に取り組んでいる	3.3%
ある程度取り組んでいる	46.5%
あまり取り組んでいない	29.3%
全く取り組んでいない	17.3%
無回答・無効票	3.6%



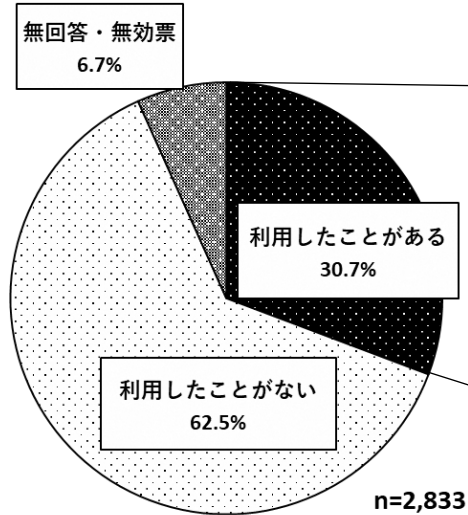


## デジタル化済みの 行政手続利用有無

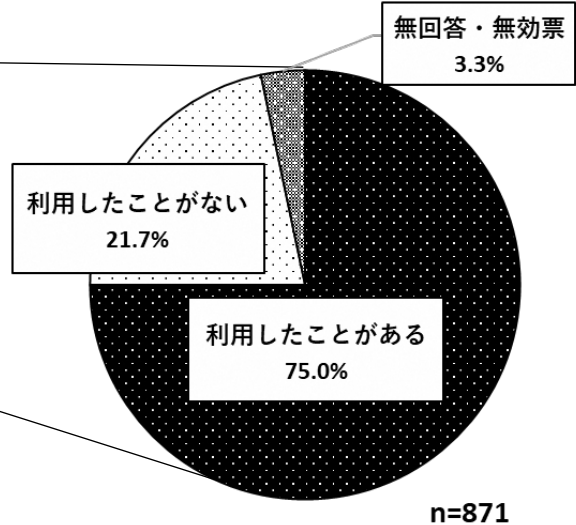
## デジタル化済み行政手続の利用経験が“ある”人は 3割を超える

- デジタル化した行政手続等を「利用したことがある」割合は、30.7%でした。  
その中で、マイナンバーカードを活用した行政手続を「利用したことがある」割合は、75.0%でした。

Q. あなたは、マイナンバーカードを含め、デジタル化している行政サービスや行政手続の利用経験はありますか。



Q. マイナンバーカードを活用したデジタル化している行政手続の利用経験はありますか。



調査結果の詳細は、青葉区WEBサイトで公表しています。

令和4年度青葉区区民意識調査



(<https://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/kusei/tokei/aobakuminnishikityousa/20220930154531938.html>)

発行:青葉区区政推進課企画調整係

TEL:045-978-2216 FAX:045-978-2410